



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日

上場会社名 株式会社ファンコミュニケーションズ 上場取引所 東
 コード番号 2461 URL <https://www.fancs.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 幸司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員コーポレート本部長 (氏名) 吉永 敬 TEL 03-5766-3530
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,733	△6.6	273	△53.9	225	△60.1	108	△72.3
2025年12月期第1四半期	1,855	9.0	594	68.7	565	59.4	389	△24.4

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 119百万円 (△67.4%) 2025年12月期第1四半期 366百万円 (△33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	1.63	1.63
2025年12月期第1四半期	5.88	—

(注) 2025年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第1四半期	21,382	16,234	75.8	245.98
2025年12月期	22,927	17,580	76.5	264.65

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 16,202百万円 2025年12月期 17,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	8.00	—	19.00	27.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	10.50	—	10.50	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,770	3.5	890	△16.4	900	△14.1	540	△22.2	8.14
通期	7,800	9.9	2,180	10.9	2,200	9.2	1,430	9.4	21.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	66,310,429株	2025年12月期	66,310,429株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	441,100株	2025年12月期	0株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	66,166,886株	2025年12月期 1 Q	66,248,429株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想数値に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調が続いております。一方、物価上昇の影響は依然として家計を圧迫しており、回復の勢いには力強さを欠く面も見られます。また、米国の通商政策をめぐる不確実性や地政学的リスクの長期化による資源価格の高止まり、為替変動の影響など、先行き不透明な状況が継続しております。

このような経済状況のもと、当社グループが事業を展開するデジタルマーケティング領域におきましては、成果報酬型広告であるアフィリエイト広告や、SNS等で影響力を持つ個人を活用するインフルエンサーマーケティングは、費用対効果の高さやターゲット顧客への訴求力の観点から、引き続き多くの企業で重要なマーケティング手法として活用されております。

一方、生成AIを活用した検索機能(AI Overview)の普及により、情報収集型の検索クエリにおいてユーザーがWebサイトへのクリックなしに回答を得るケースが増加しており、アフィリエイトメディアを含むSEO依存型のパートナーサイトへのオーガニックトラフィックは減少傾向にあります。過去にも若年層のSNSシフトによる検索行動の変化はありましたが、今般の生成AIの普及に伴う検索離れは、幅広い年齢層に及ぶ構造的な変化であり、デジタルマーケティング市場全体にとって大きな転換点となっております。このような環境変化に対し、広告主・メディア双方において、AIに引用・推薦されるコンテンツ設計(AI最適化)への対応の重要性が急速に高まっております。

当社グループは、「プロシューマーハピネス」のビジョンのもと、デジタル上における生産行動・消費行動に存在するあらゆる課題を解決することをミッションとして掲げ、広告主とプロシューマーが出会う場を提供してまいりました。ユーザーの情報収集行動がAIベースへと移行する中であっても、生産行動・消費行動における課題は形を変えて生じ続けるものと認識しており、こうした時代の変化を新たな事業機会として捉え、当社グループ自身のAI活用を積極的に推進しながら、サービスの進化に取り組んでまいります。

また、当社グループは、2025年2月に発表した中期経営計画(2025年度～2027年度)に基づき、顧客ネットワークの拡大、営業利益の成長、およびROE向上に向けた取り組みを着実に推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,733,436千円(前年同四半期比6.6%減)となりました。また、営業利益は273,743千円(前年同四半期比53.9%減)、経常利益は225,807千円(前年同四半期比60.1%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は108,115千円(前年同四半期比72.3%減)となりました。

① CPAソリューション事業

CPAソリューション事業は、主力サービスでありますアフィリエイト広告サービス「A8.net」やスマートフォンアプリ向けCPI広告サービス「A8app」等を提供しております。当第1四半期連結累計期間においては、A8.netの稼働広告主数の減少およびコミッション率の低下したことで減収減益となりました。一方、人件費を中心とした経費の最適化に継続して取り組んでおり、利益の下支えに寄与しております。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,280,559千円(前年同四半期比16.8%減)、セグメント利益は847,231千円(前年同四半期比18.9%減)となりました。

② 戦略事業

戦略事業は、「ファンマーケティング」「インフルエンサーマーケティング」「LINEマーケティング」を中心に、新規事業の企画・開発投資を拡大してまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、連結子会社である株式会社ファンコミュニケーションズ・グローバルにおいて、ゲームパブリッシング事業を中心に売上高が増加したものの、広告宣伝費等の先行投資が売上成長を上回る水準で推移いたしました。また、「ファンマーケティング」「インフルエンサーマーケティング」「LINEマーケティング」の各サービスにおいても、いずれもトップラインは前年を上回る水準で推移しているものの、引き続き投資フェーズであることから、収益化には至っておりません。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は452,877千円(前年同四半期比42.8%増)、セグメント損失は253,125千円(前年同四半期はセグメント損失154,173千円)となりました。

○ 報告セグメント別の売上高の内訳

セグメントの名称	2025年12月期第1四半期		2026年12月期第1四半期		2025年12月期	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
CPAソリューション事業	1,538,658	82.9	1,280,559	73.9	5,660,912	79.8
戦略事業	317,061	17.1	452,877	26.1	1,435,744	20.2
総売上高	1,855,719	100.0	1,733,436	100.0	7,096,657	100.0

なお、主力サービスであるアフィリエイト広告サービスにおける当第1四半期連結会計期間末の利用広告主数(稼働広告主ID数)、参加メディア数(登録パートナーサイト数)は、下記のとおりであります。

サービス	区分	2026年12月期 第1四半期	2025年12月期
A8.net	稼働広告主ID数	2,996	3,084
	登録パートナーサイト数	3,650,615	3,622,301

(2) 当四半期の財政状態の概況

(総資産)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ1,544,541千円減少し、21,382,932千円となりました。主な要因としましては、投資有価証券が3,987,654千円(前連結会計年度末は3,687,231千円)と300,422千円増加した一方、現金及び預金が12,628,745千円(前連結会計年度末は14,694,521千円)と2,065,775千円減少したことによるものであります。

(負債)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ198,693千円減少し、5,148,347千円となりました。主な要因としましては、その他流動負債が956,166千円(前連結会計年度末は651,237千円)と304,928千円増加した一方、未払法人税等が97,576千円(前連結会計年度末は589,247千円)と491,670千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べ1,345,848千円減少し、16,234,584千円となりました。主な要因としましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を108,115千円計上した一方、配当金の支払いにより1,259,898千円減少したこと、自己株式の取得により206,145千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月9日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,694,521	12,628,745
売掛金	2,624,731	2,637,981
有価証券	393,023	496,910
その他	257,841	437,848
貸倒引当金	△12,621	△17,444
流動資産合計	17,957,495	16,184,041
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	42,856	41,465
工具、器具及び備品(純額)	27,509	24,256
有形固定資産合計	70,365	65,721
無形固定資産		
のれん	431,970	401,115
その他	430,718	423,788
無形固定資産合計	862,688	824,903
投資その他の資産		
投資有価証券	3,687,231	3,987,654
その他	351,443	325,872
貸倒引当金	△1,751	△5,261
投資その他の資産合計	4,036,923	4,308,265
固定資産合計	4,969,978	5,198,891
資産合計	22,927,473	21,382,932

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,938,419	3,906,104
未払法人税等	589,247	97,576
ポイント引当金	49,607	67,054
賞与引当金	3,212	6,328
その他	651,237	956,166
流動負債合計	5,231,724	5,033,230
固定負債		
その他	115,316	115,116
固定負債合計	115,316	115,116
負債合計	5,347,040	5,148,347
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,189,569	1,189,569
資本剰余金	294,269	294,269
利益剰余金	15,952,716	14,800,932
自己株式	-	△206,145
株主資本合計	17,436,554	16,078,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,578	123,930
その他の包括利益累計額合計	112,578	123,930
新株予約権	31,300	32,027
純資産合計	17,580,433	16,234,584
負債純資産合計	22,927,473	21,382,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,855,719	1,733,436
売上原価	200,511	368,825
売上総利益	1,655,208	1,364,610
販売費及び一般管理費	1,061,065	1,090,867
営業利益	594,142	273,743
営業外収益		
受取利息	9,988	23,851
為替差益	-	12,789
その他	3,758	947
営業外収益合計	13,747	37,589
営業外費用		
投資事業組合運用損	11,687	84,803
為替差損	30,309	-
その他	31	721
営業外費用合計	42,029	85,525
経常利益	565,860	225,807
特別利益		
事業譲渡益	3,000	1,200
その他	19,454	-
特別利益合計	22,454	1,200
特別損失		
固定資産除却損	-	6,491
投資有価証券評価損	9,994	-
特別損失合計	9,994	6,491
税金等調整前四半期純利益	578,320	220,515
法人税、住民税及び事業税	199,783	90,012
法人税等調整額	△11,131	22,388
法人税等合計	188,651	112,400
四半期純利益	389,668	108,115
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	389,668	108,115

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	389,668	108,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,733	11,352
その他の包括利益合計	△22,733	11,352
四半期包括利益	366,935	119,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366,935	119,467
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日 至2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	CPAソリューション事業	戦略事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,538,658	317,061	1,855,719	—	1,855,719
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46,735	23,504	70,240	△70,240	—
計	1,585,394	340,566	1,925,960	△70,240	1,855,719
セグメント利益又は損 失(△)	1,045,090	△154,173	890,916	△296,773	594,142

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日 至2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	CPAソリューション事業	戦略事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,280,559	452,877	1,733,436	—	1,733,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,967	36,189	69,156	△69,156	—
計	1,313,526	489,066	1,802,593	△69,156	1,733,436
セグメント利益又は損 失(△)	847,231	△253,125	594,106	△320,362	273,743

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2026年2月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式441,100株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が206,145千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が206,145千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	20,889千円	34,054千円
のれんの償却額	30,855	30,855